

東日本大震災7周年「絆7」追悼イベントの実施

1. 3月11日（日）、在シカゴ日本国総領事館は、シカゴ主要日系4団体（シカゴ姉妹都市大阪委員会、シカゴ日米協会、シカゴ日本商工会議所及びJETROシカゴ事務所）との共催で、東日本大震災7周年を機に、「絆7」追悼イベントを実施しました。
2. 「絆」イベントは、東日本大震災による被害と米国中西部より差し伸べられた日本に対する支援の記憶を受け継ぎ、東北の未来に向けたメッセージを発信することを目的としています。震災翌年の2012年より、毎年シカゴにて、追悼イベント、東北の姿を伝える写真展、及び東北の経済に関する経済セミナーの3本立てで実施しています。
3. 追悼イベントでは、イリノイ州知事及びシカゴ市長による追悼メッセージの紹介と、日本に対する支援への謝意表明として、州・市政府代表に対する花束贈呈が行われました。また、本年プログラムのハイライトとして、身近で震災を経験したり、支援活動を行ったりしている人々の声が紹介されました。パネルディスカッションでは、家族または自らが被災した中西部在住の女性4名がそれぞれの経験を語り、復興支援テニス団体「Project Love All」による活動紹介では、日本語補習校の生徒が活動を通じて得たものを共有しました。会場からは、地元市民による経験談に、高い関心と深い共感が示されました。
4. メディアが伝える被災地の姿を越えて、来場者が東北を見たり感じたりできるように、レセプション会場では、アラン・ラブ・シカゴ美術館附属大学准教授による写真展「Past the Devastation and Toward the Future」の展示と、東北被災3県を産地とする日本酒の提供を行いました。
5. 地元コミュニティの集いに添えるものとして、琴の演奏で来場者をお出迎えし、追悼式冒頭では篠笛による「花は咲く」の演奏を行いました。後半には、バイオリン奏者の田辺恵美氏による伴奏の下、当地在住オペラ歌手の大西宇宙氏が会場とともに、「上を向いて歩こう」を歌いました。
6. 今回の絆イベントは、「震災を忘れない」という決意を当地コミュニティと共有し、被災地への連帯を示すとともに、東北の未来について、それぞれの思いを馳せる機会となりました。



州・市政府代表による追悼メッセージ
及び花束贈呈



家族または自らが被災した女性4名による
パネルディスカッション



復興支援テニス団体による
プレゼンテーション



写真展



復興支援テニス団体による
パネル展示



東北被災3県を産地とする日本酒の提供